

湖北広域行政事務センター
新一般廃棄物処理施設整備事業に係る

環境影響評価方法書

のあらまし



令和 2 年 1 月

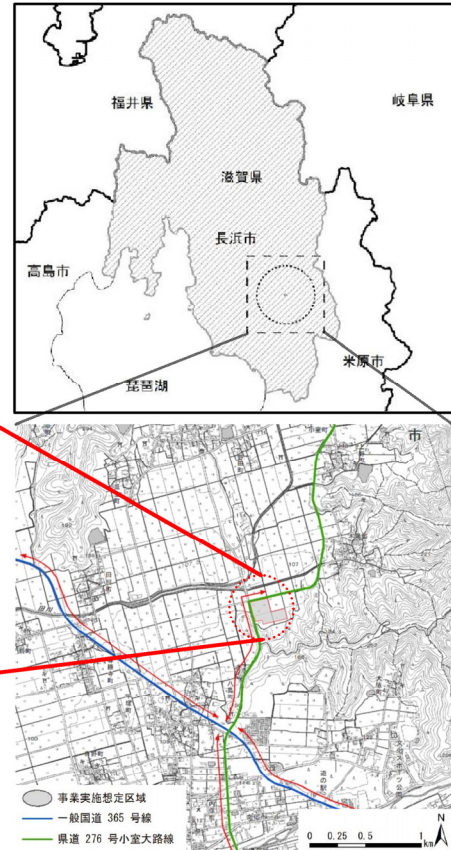
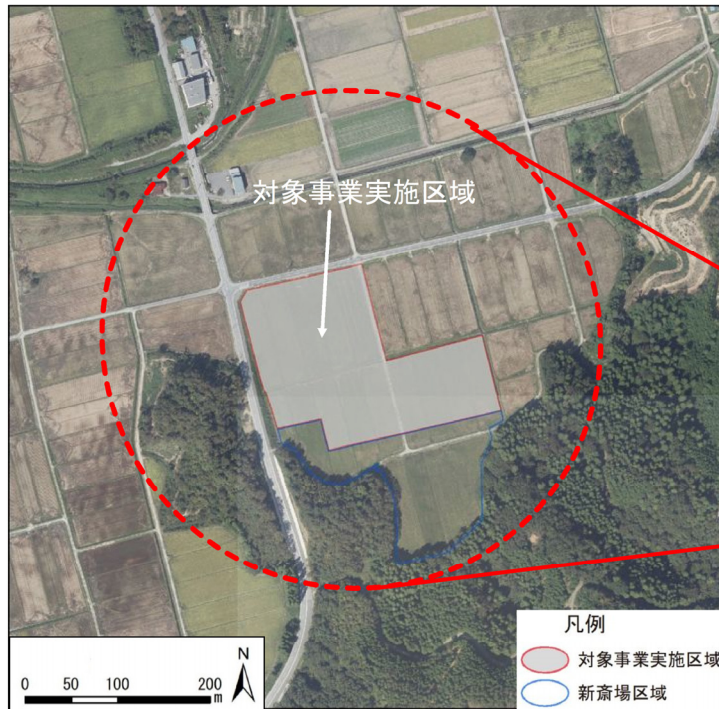
湖北広域行政事務センター

◆対象事業実施区域の位置・面積

・位置：長浜市木尾町字込田

・面積：約 3.5 ha

※対象事業実施区域の南側に隣接して新斎場の整備事業地が存在



(25000分の1の国土地理院電子地形図を利用)

◆施設の諸元等

種類	施設種別	施設規模※	項目	計画施設
対象施設	ごみ焼却施設	145t/日	施設排水	新焼却施設から発生する施設排水は施設内で処理するなどにより、河川放流は行わない計画である。
関連施設	リサイクル施設	22t/日	生活排水	公共下水道へ放流する。
	汚泥再生処理センター	49kℓ/日	雨水排水	調整池を経て公共用水域へ放流する計画である。

※一般廃棄物処理基本計画に基づく数値であり、今後、策定する一般廃棄物処理施設整備基本計画等により変更になる可能性があります。

- ・新たな焼却施設が環境保全のために目標とする値（公害防止基準）は、関係法令等の規制値および現有施設の公害防止基準を踏まえて、今後検討する方針です。
- ・大気質に係る新たな焼却施設の法規制基準値および現有施設の公害防止基準を下表に示します。

項目		法規制基準値	現有施設公害防止基準
排ガス諸元	ばいじん (SPM)	0.08 g/m ³ N	0.02 g/m ³ N
	硫黄酸化物 (SO _x)	K値 14.5 (3,000~4,000 ppm相当)	50 ppm
	窒素酸化物 (NO _x)	250 ppm	125 ppm
	塩化水素 (HCl)	430 ppm (700mg/m ³ N)	100 ppm
	ダイオキシン類	1 ng-TEQ/m ³ N	0.1 ng-TEQ/m ³ N
	水銀	30 μg/m ³ N	—

◆工事スケジュール

- ・主要な工事：敷地の造成工事、施設の建設工事
- ・工事期間：工事着工から供用開始まで6年程度
(全施設の稼働予定は令和10年4月)

◆環境影響評価の対象項目、現況調査・影響の予測手法の概要

事業特性・地域特性および計画段階配慮事項の検討の経緯等を踏まえ、「滋賀県環境影響評価技術指針」等をふまえて、環境影響評価の対象項目・手法等を選定しました。

<環境影響評価の対象項目および現況調査・影響の予測手法>

環境影響要因 環境要素		現況調査※	影響の予測						予測の手法
			工事の実施			存在・供用			
			土地の改変	重機の稼働	工事用車両の走行	施設の存在	施設の稼働	施設関連車両の走行	
大気質	二酸化硫黄	○					○		プルーム式およびパフ式による計算を基本とした方法
	窒素酸化物	○		○	○		○	○	
	浮遊粒子状物質	○		○	○		○	○	
	有害物質	○					○		
	粉じん等	○		○			○		
騒音		○		○	○		○	○	音の伝播理論に基づく予測式により計算する方法等
超低周波音		○					○		距離減衰式等による計算または類似事例の引用による定性的な方法
振動		○		○	○		○	○	振動の伝播理論に基づく予測式により計算する方法等
悪臭		○					○	○	プルーム式およびパフ式による計算を基本とした方法等
水質	水の濁り	○	○						浮遊物質の希釈計算または事例の引用もしくは解析による方法
動物		○	○	○					分布または生息・生育環境の改変の程度を踏まえた事例の引用または解析による方法
植物		○	○						
生態系		○	○	○					
景観		○					○		完成予想図による視覚的な表現方法等により予測する方法
廃棄物等		○	○					○	廃棄物等の発生量、処理・処分の計画を踏まえ定性的に予測する方法
温室効果ガス		○		○	○		○	○	温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル等に基づき試算する方法
文化財		○	○				○		有形文化財等・伝承文化の分布または成立環境の改変の程度等を踏まえて予測する方法
伝承文化		○	○				○		

※ 表に示す項目のほかに、気象（風向・風速）や地下水、土壌等の現況調査を実施します。

◆現況調査の実施時期

現地での調査（測定・観察等）を行う現況調査項目については、**下表**に示す時期に調査を実施する予定です。

各調査項目の調査位置・調査イメージは、5～7ページに示します。

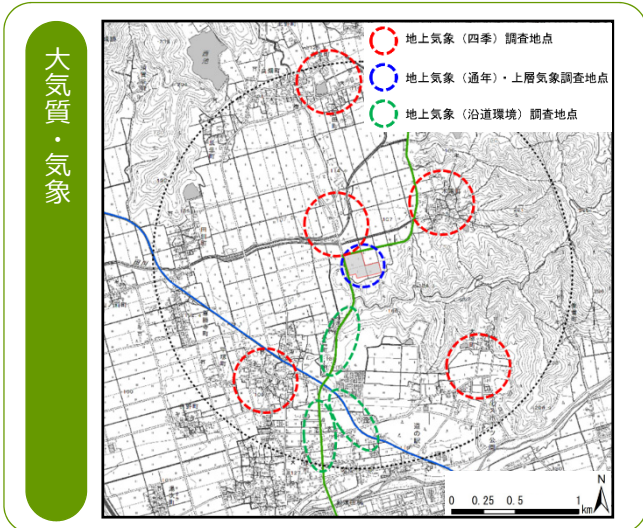
<現況調査の実施スケジュール>（現地での調査を行う項目）

項目	年 月	令和1年				令和2年									令和3年						
		6	7	8	～	2	3	4	5	6	7	8	9	～	1	2	3	4	5		
大気質						●			●			●		●							
騒音														●							
超低周波音														●							
振動														●							
悪臭													●								
水質						●	-----										●	降雨時調査は任意の時期に実施			
動物	哺乳類					●			●			●		●							
	鳥類					●	-----										●	インターバルカメラ			
	猛禽類	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●				●	●	●	●		
	両生類 爬虫類						●		●		●			●							
	昆虫類								●			●		●							
	陸産貝類									●				●							
	魚類					●			●			●		●							
	底生動物					●			●			●		●							
植物	植物相							●		●			●								
	植生												●								
景観					●			●			●		●								

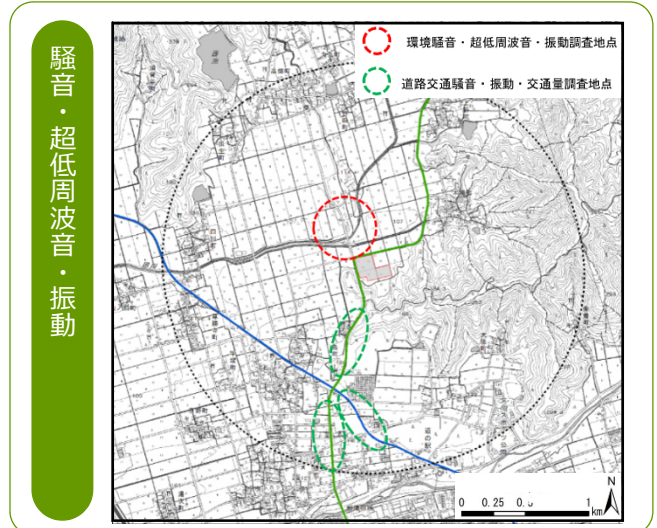
◆調査位置

現況調査（現地調査）を行う概ねの調査位置は、**下図**に示すとおりです。

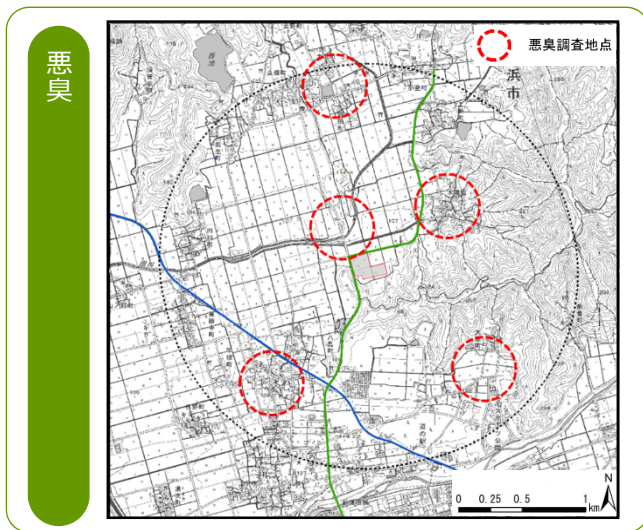
主な調査事項の調査方法・調査イメージを、**6～7ページ**に示します。



(25000分の1の国土地理院電子地形図を利用)



(25000分の1の国土地理院電子地形図を利用)



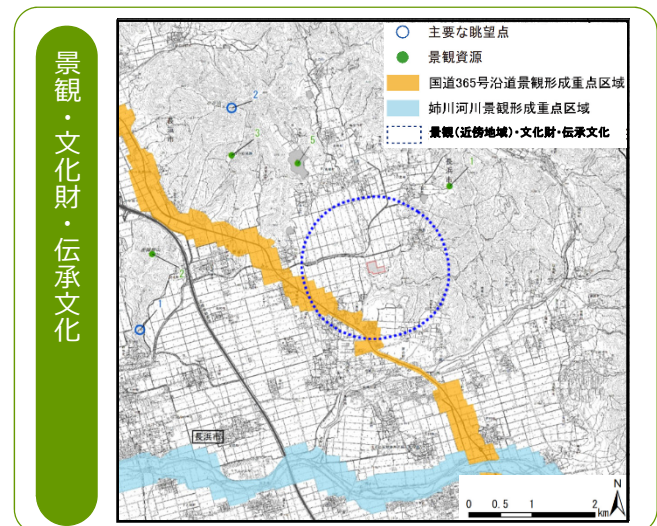
(25000分の1の国土地理院電子地形図を利用)



(25000分の1の国土地理院電子地形図を利用)



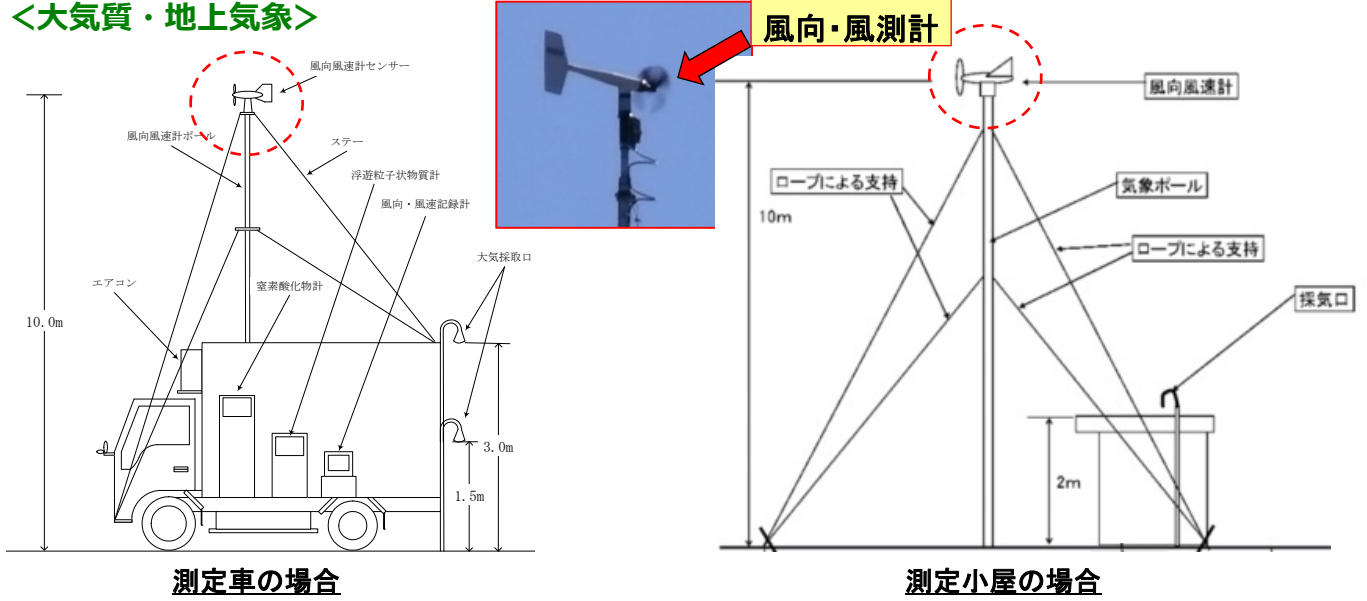
(25000分の1の国土地理院電子地形図を利用)



(50000分の1の国土地理院電子地形図を利用)

◆主な調査項目の調査方法・調査イメージ（調査機材等）

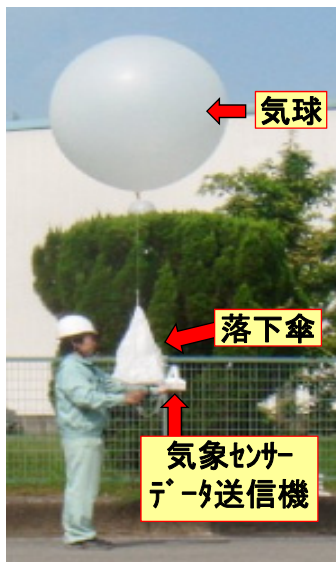
<大気質・地上気象>



測定車の場合

測定小屋の場合

<上層気象>



GPSゾンデ観測

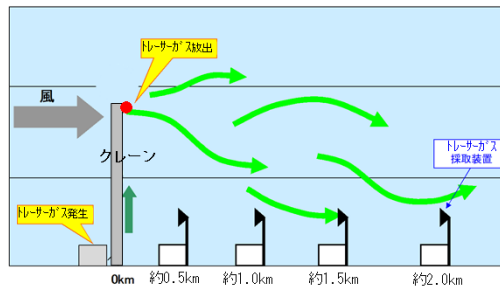


ドップラーソーダ
(上空風の連続観測)

<現地拡散実験>



現地拡散実験のイメージ図



◆現地拡散実験とは？

人工的なトレーサーガスを大型クレーンを用いて上空より放出し、風下側に配置する捕集器具で採取した空気中の濃度を分析することで、濃度分布（大気拡散の状況）を調べます。

<騒音・超低周波音・振動>

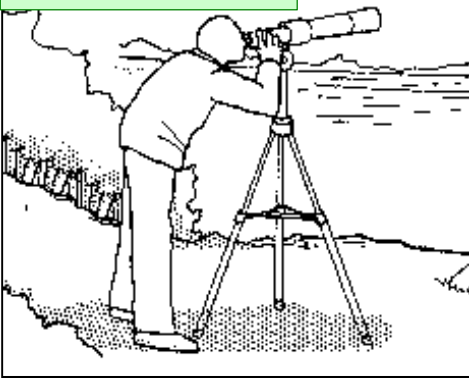


<悪臭>



＜動物・植物・生態系＞

鳥類・猛禽類調査



昆虫調査(任意調査)

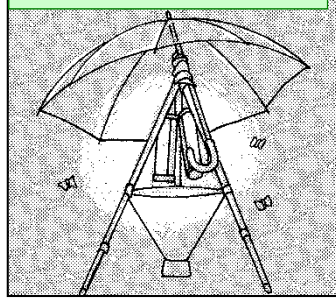


魚類調査



センサーカメラ(哺乳類)

昆虫調査(ライトトラップ)



植物調査



◆環境影響評価のスケジュール

- 環境影響評価の手続きは、**下表**に示すスケジュールで進める予定です。
- 今後、現況調査を実施したうえで準備書のとりまとめを行い、その結果について改めて説明会を開催します。

年度	2019年(令和元年)						2020年(令和2年)						2021年(令和3年)					
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2
環境影響評価																		
配慮書																		
方法書																		
現況調査																		
準備書																		
評価書																		

お問い合わせ先

湖北広域行政事務センター 施設整備課
 〒526-0021 滋賀県長浜市八幡中山町200番地
 TEL 0749-62-7146